

令和5年度

主要施策の成果に関する説明書

令和6年度滋賀県議会定例会  
令和6年9月定例会議提出

[ 会計管理部門 ]

# 滋 賀 県 の 施 策 の 分 野

- I 人 自分らしい未来を描ける生き方
- II 経 済 未来を拓く 新たな価値を生み出す産業
- III 社 会 未来を支える 多様な社会基盤
- IV 環 境 未来につなげる 豊かな自然の恵み

目 次

	頁
I 人	該当なし
II 経 済	該当なし
III 社 会	511
IV 環 境	該当なし

### III 社 会

#### 未来を支える 多様な社会基盤

事 項 名	成 果 の 説 明
<p>1 滋賀県が締結する契約に関する条例 推進事業</p> <p>予 算 額           7,572,000 円</p> <p>決 算 額           7,394,862 円</p>	<p>1 事業実績 滋賀県契約審議会の運営、事業者へのアンケート調査の実施、「滋賀県の契約に関する取組方針」に掲げる取組項目の実施等、「滋賀県が締結する契約に関する条例」に基づく取組の推進を図った。</p> <p>(1) 滋賀県契約審議会の運営 2回開催 (2) 事業者へのアンケート調査の実施 ・ 入札参加資格者名簿（建設工事等、滋賀県物品・役務および庁舎管理業務）に登録された 5,392 社を対象 ・ 回答率 59.2% (3) 取組方針に掲げる取組のうち、主な新規項目 ・ 発注等事務の簡素化の一環として電子契約システムの導入を検討（令和6年度中に導入予定） ・ 入札および契約手続の運用状況等について滋賀県契約審議会から意見聴取 ・ 庁舎管理業務に係る仕様書をグループウェアに掲載し庁内で共有</p> <p>2 施策成果 取組方針に掲げる取組項目の着実な実施等により、適正な入札・契約事務に係る職員意識の向上を図るとともに、県内事業者の受注機会の確保を図ることができた。 また、事業者へのアンケート調査の実施により、入札・契約に関する事業者の現状や意見を把握し、入札・契約事務の改善を図った。</p> <p>3 今後の課題 取組方針に掲げる取組項目のうち、未実施項目を順次実施していく必要がある。 また、県の入札・契約事務が引き続き適正に行われるよう、職員への研修や相談等、支援の充実を図る必要がある。</p>

事 項 名	成 果 の 説 明
	<p>4 今後の課題への対応</p> <p>①令和6年度における対応 取組方針に掲げる取組項目のうち、未実施項目の実施に向けた取組を進める。 また、電子契約システムについて、その導入に向け、事務フローや規程の整備等を行う。 併せて、研修の継続的な実施等により職員の入札・契約事務の一層の適正化を図る。</p> <p>②次年度以降の対応 条例施行後3年間の取組について、滋賀県契約審議会や庁内の推進委員会の意見も聴取して検証を行い、取組方針の見直しを含め、今後必要な取組についての検討を進める。 また、研修の継続的な実施等、職員の入札・契約事務の適正化を図るため不断の取組を行う。</p> <p style="text-align: right;">(管理課)</p>